

令和5年
3月1日号
広報
No.712

あきる野

今号の主な記事など

- 公共交通実証実験「るのバス」「チョイソコ」の運行予定…3面
- 減免世帯へ指定収集袋を交付します…4面
- 障がいのある方へヘルプカードを配布しています…5面

6年前にあきる野市へ移住された糸川ご夫妻。ジュエリー制作販売とレンタルキッチンを営みながら、子ども向けイベントcodomoマーケットを主催するなど、2人のお子さんと愛犬とあきる野暮らしを楽しまれています。



令和5年度 施政方針

2月17日の令和5年あきる野市議会第1回定例会で、中嶋市長が施政方針を発表しました。(原文掲載)

令和5年あきる野市議会第1回定例会3月定例会議の開催に当たり、令和5年度の施政方針を申し述べさせていただきます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況や変異、国や東京都の対策の動向を注視しながら、コロナ禍により中止してい

た、あきる野夏まつりをはじめとする様々なイベントを再開するなど、経済や教育、文化や自治活動等における活力を取り戻し、人と人とのつながりが活発になるよう市政運営を進めてまいります。

また、生産年齢人口の増加や企業誘致、事

業承継の促進、企業版ふるさと納税の活用などの取組を進め、地域経済の活性化と財政の安定化を図り、積極的な行政活動ができるよう体制を構築してまいります。

それでは、第2次総合計画等を踏まえた6つの基本政策について申し上げます。

①生産年齢人口の増加に向けた取り組みと子育て支援の充実

はじめに、生産年齢人口の増加に向けた取組と子育て支援の充実についてであります。

地域や産業の担い手である生産年齢人口の減少に歯止めをかけ、未来を支える世代を増やし活力ある社会を築くためには、移住・定住の促進や子育て支援の充実が重要であります。

移住・定住の促進につきましては、令和5年4月から、担当課長を配置し、体制を強化するとともに、移住・定住相談窓口を開設し、東京都と連携しながら、相談対応や市内案内等を行ってまいります。また、移住・定住促進ウェブサイトの開設などにより、本市の魅力発信の取組を強化してまいります。

本市に移り住んでいただき、住み続けていただくためには、まずは本市を訪れ、子育て、教育、医療、仕事、余暇の楽しみ方など、本市の環境や暮らしを知っていただくことが重要であります。このため、豊かな自然環境、活発な地域コミュニティ等の地域資源を生かした体験型事業を継続的に行うなどの仕組みを創出し、本市の長所も短所もご理解いた

いた上で、移住・定住につながるよう創意工夫してまいります。

移住・定住の促進策と並行し、自然体験事業をはじめ、アウトドアやトレイルラン、観光などを通じた交流人口の増加を図り、秋川流域の活性化につながることを目的に、武蔵五日市駅前市有地について、観光や体験の場の玄関口としてふさわしい機能を果たせるよう、流域自治体や地域の皆様からご意見をいただきながら、具体的な活用方策を検討し、着手してまいります。

子育て支援の充実につきましては、移住・定住の促進も視野に入れながら、子どもの保健の向上と子育て世帯の負担軽減を図るため、高校生等以下の医療費について、市独自に所得制限や自己負担額を撤廃し、完全無償化するとともに、不妊治療や低所得の妊婦の初回産科受診に対する費用の助成、伴走型相談支援と経済的支援の一体的な実施により、子育て家庭等への支援の拡充を進めてまいります。また、妊産婦から子育て世帯、子どもへの支援体制を強化するため、令和5年4月から、

母子保健に関する相談業務をあきる野ルピア2階の子ども家庭支援センターにおいて一元化して行うことといたします。

子どもの視覚の異常を早期に発見し、適切な医療につなげられるよう、3歳児健康診査に屈折検査機器を導入いたします。また、保育所等における保護者等の負担軽減と感染症対策として、使用済みおむつの各施設における処分を実施・支援してまいります。

子どもの学習・生活支援事業につきましては、より多くの子どもたちが利用できるよう、集合型の会場を1か所増設いたします。

また、地域の大人たちが、知識や経験を生かし、子どもの安全・安心の確保や健全な育成を担う地域子ども育成リーダー制度につきましては、市との協働による提案事業を引き続き実施するとともに、本事業を通じて、本市の魅力である身近な自然や地域の資源・文化を最大限に生かした、子ども・子育てを支える地域づくり、人づくりを更に推進してまいります。

2面につづく